

行政視察報告

総務市民常任委員会

日時 7月12日～14日

場所 秋田県大館市

青森県弘前市

民間事業者による空き公共施設の有効活用

大館市では、市町村合併で増加した空き公共施設の有効活用を図るため、民間事業者への譲渡、貸出を推進していました。

空き公共施設等利活用促進条例を制定し、施設を利用する民間事業者へ、正社員の雇用、地域貢献などを条件に、施設の譲渡費用や貸付額の軽減、増改修費用の助成など、優遇措置を設けています。平成25年から4施設の実績がありました。

市民参加型まちづくり1%システム

弘前市では個人市民税の1%相当額を、市民みずからが実践するまちづくり・地域づくり活動への補助金

に充てていました。一定の条件をクリアすれば誰でも応募可能で、補助額の上限は原則50万円です。過去6年間で計284件の実績がありました。

経済建設常任委員会

日時 6月28日～30日

場所 鳥根県出雲市

鳥取県倉吉市

出雲ブランド商品の認定

出雲市では出雲のブランド力を活用した産業振興を行っていました。

市場性、将来性のある地元商品を出雲ブランドとして認定し、名称に「出雲」を使用することで、販路生産の拡大、出雲の知名度やイメージの向上を図り、企業活動のさらなる活性化を促進していました。

お試し住宅

倉吉市では、人口減少対策として、移住検討者に市

の良さを体感してもらおう事業を実施していました。

市内の空き家にお試しで一定期間滞在してもらい、実際に倉吉市の風土や気候、地域住民との交流、農業体験や田舎暮らしの良さを体感してもらいます。現在、市内2カ所の空き家を整備して活用しており、移住者には補助金を交付して支援しています。

教育福祉常任委員会

日時 7月5日～7日

場所 秋田県北秋田市

山形県新庄市

あきたリフレッシュ学園と

教育留学事業

北秋田市では、県内外の不登校の小・中学生を対象に、恵まれた自然を生かした体験活動を中心として、心身をリフレッシュできる場所を提供していました。入園者は9年間で延べ100人を超え、復帰率は80%以上でした。また全国学力テスト正答率トップクラス

の常連である実績を背景に、県外から教育留学生を募り、教育や自然を体験してもらうことで、秋田の魅力発信していました。

野学園 義務教育学校 新庄市立萩野学園

新庄市では、学校の統廃合に合わせて小中一貫教育を進めていきました。萩野学園では子どもの成長に合わせ柔軟なカリキュラムを採用していました。1年生から9年生まで一緒に活動し、新築された校内には穏やかさと活気がありました。

議会報編集委員会

日時 8月7日～8日

場所 岐阜県可児市

可児市議会の議会報リニューアルの状況を視察しました。手にとって読みたくなる議会報を目指し、先進自治体を研究し、良い点を積極的に取り入れていきました。レイアウトでは記事を詰め込まず、余白を効果的に入れることが、記事のアピールや読みやすさにつながると説明がありました。

平成29年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	12/1	2
			本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	一般質問	
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問	一般質問	常任委員会 (総務市民 (経済建設))	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 (表決・閉会)				
17	18	19	20	21	22	23

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

平成29年9月定例会の審議結果

条例の制定……………原案可決

○渋川市工場立地法に基づく地域準則条例

条例の改正……………原案可決

○渋川市介護保険条例の一部を改正する条例
○渋川市営住宅等条例の一部を改正する条例

その他……………否 決

○渋川市総合公園陸上競技場グラウンド舗装工事請負契約の締結について

市長専決処分の報告

○和解及び損害賠償の額を定めることについて (6件)

報 告

○平成28年度渋川市一般会計継続費精算報告書の報告について

人 事……………同 意

○人権擁護委員候補者の推薦について (2件)

人 事……………選 挙

○烏帽子山植林組合議会議員の選挙

平成29年度補正予算……………原案可決

○渋川市一般会計補正予算(第2号)
○渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
○渋川市介護保険特別会計補正予算(第1号)
○渋川市農産物直売事業特別会計補正予算(第1号)
○渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第1号)
○渋川市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

○渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
○渋川市個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
○渋川市水道事業会計補正予算(第1号)
○渋川市一般会計補正予算(第3号)

平成28年度決算……………認 定

○渋川市一般会計歳入歳出決算について
○渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
○渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
○渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について
○渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市下水道事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算について
○渋川市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について

平成28年度決算……………原案可決・認 定

○渋川市水道事業会計剰余金の処分及び決算について

意見書……………原案可決

○市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

発行◆渋川市議会
編集◆議会報編集委員会

議案第93号(記名投票により否決)の賛否一覧

「議案第93号 渋川市総合公園陸上競技場グラウンド舗装工事請負契約の締結について」は記名投票の結果、賛成少数により否決になりました。各議員の賛否一覧は以下のとおりです。

議員名	池田祐輔	山内崇仁	細谷浩	星野安久	山崎正男	田邊寛治	今井五郎	今成信之	今成信司	篠田徳壽	平方嗣世	中澤広行	山崎雄平	入内島英明	加藤幸子	茂木弘伸	南雲鋭一	望月昭治	角田喜和	石倉一夫
賛否	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●

○：賛成 ●：反対 ※須田 勝議員は、議長職のため表決に加わっていません。

編集後記

新市長就任後初の定例会。市長の施政方針は、渋川の再生。特に基礎的財政収支を黒字化する方針だ。様々な事業をゼロベースで見直すという。見直しは大いに結構。しかし全国的に先駆けて行ってきた事業もある。議会と市職員で年単位で議論を醸成してきたこともある。市長は議会と積極的に対話することが重要だ。結論を導き出すために、丁寧な説明が求められる。

議会側も、真摯に議論を尽くさなければならぬ。決して感情的な、安易な結論を求めてはならない。そのために、市民一人ひとりに寄り添い、調査と研究の努力を惜しんでいなければならない。皆様の負託に応えるために。(編集委員 安力川信之)